

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

|                 |                     |            |                       |
|-----------------|---------------------|------------|-----------------------|
| <b>法人名(団体名)</b> | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | <b>所管課</b> | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|-----------------|---------------------|------------|-----------------------|

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

- 1 市民活動の自主性・自立性に配慮した行政の支援基準である「川崎市市民活動支援指針」において、行政による直接支援よりも、中間支援組織を通じた支援の方が効果的・効率的である旨がうたわれており、当法人が市域における市民活動の中間支援組織を担うものと位置づけられています。
- 2 子どもと若者が安全に安心して過ごせる居場所となるよう「こども文化センター」「わくわくプラザ」を適正に管理運営するとともに、市民活動拠点として、その利用を促進する役割も担っています。
- 3 この二つの公益目的事業を通じ、地域社会の活性化と共生社会の実現が期待されています。

|              |               | 基本政策  | 施策   |
|--------------|---------------|---|--|
| 法人の取組と関連する計画 | 市総合計画と連携する計画等 | <b>【市民活動推進事業】</b><br>誰もが生きがいを有する市民自治の地域づくり<br><b>【青少年健全育成事業】</b><br>子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり  | <b>【市民活動推進事業】</b><br>市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり<br><b>【青少年健全育成事業】</b><br>子どものすこやかな成長の促進 |
|              | 分野別計画         | <b>【市民活動推進事業】</b><br>○川崎市市民活動支援指針<br>○川崎市市民活動支援指針改訂検討委員会報告書<br>○「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」(平成31年3月策定)<br><b>【青少年健全育成事業】</b><br>○川崎市子ども・若者の未来応援プラン(平成30年度～令和3年度) |  |

### 4か年計画の目標

- 【市民活動推進事業】**
- ・全市・全領域的な中間支援組織として、市民活動団体が必要とするリソースを時宜に即して提供するとともに、全市拠点として求められる役割・機能を十分に担い得る執行体制を確立します。
  - ・市民活動の一層の活性化を図るため、その自主性・自立性の確保に対する適切な配慮を前提とし、区役所及び他の中間支援組織との情報共有、連携を進めることで、中間支援機能の充実・強化を進めます。
- 【青少年健全育成事業】**
- ・こども文化センター・わくわくプラザの指定管理者として、より良質なサービスの提供を図るとともに、利用者の信頼を一層得られる事業運営を行います。
  - ・「こども文化センター」は、市民活動の拠点としての役割を担っており、その役割を推進します。

◎この二つの公益目的事業を通じ、地域社会の活性化と共生社会の実現が期待できることから、当該法人の活用を図ります。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

| 取組No. | 事業名       | 指標                  | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 実績値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 達成度<br>(※1) | 本市による評価<br>・達成状況<br>(※2)<br>・費用対効果<br>(※3) | 今後の取組の<br>方向性<br>(※4) |
|-------|-----------|---------------------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|--|-----------------------|
| ①     | 市民活動推進事業  | 施設利用者数(利用者+相談者)     | 人  | 31,581                    | 31,900                   | 10,296                   | d           | C  | II                    |
|       |           | かわさき市民公益活動助成金の申請団体数 | 団体 | 84                        | 85                       | 90                       | a           |  |                       |
|       |           | 講座受講者満足度            | %  | 93                        | 93                       | 98                       | a           |  |                       |
|       |           | 事業別の行政サービスコスト       | 千円 | 91,467                    | 88,067                   | 87,105                   | 1)          | (2)  |                       |
| ②     | 青少年健全育成事業 | 地域や関係機関等との連携状況      | 団体 | 1,762                     | 1,900                    | 752                      | d           | D  | II                    |
|       |           | わくわくプラザの登録率         | %  | 48.5                      | 48.8                     | 35.9                     | c           |  |                       |
|       |           | 事業別の行政サービスコスト       | 千円 | 2,850,637                 | 3,085,158                | 3,056,933                | 1)          | (3)  |                       |

### 3. 経営健全化に向けた取組

| 取組No. | 項目名                                   | 指標       | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 実績値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 達成度 | 本市による<br>評価<br>・達成状況 | 今後の取組の<br>方向性 |
|-------|---------------------------------------|----------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ①     | 法人の自立化や経営の安定化の推進                      | 自主財源等の確保 | 千円 | 46,572                    | 47,421                   | 23,980                   | d   | E                    | Ⅱ             |
| ②     | 公益法人の会計基準により即した予算執行及び会計処理の確立(財務基準の遵守) | 収支相償の達成  | 円  | 1,139,869                 | 0                        | 4,213,736                | c   | C                    | Ⅱ             |

### 4. 業務・組織に関する取組

| 取組No. | 項目名              | 指標                  | 単位 | 現状値<br>(平成29<br>(2017)年度) | 目標値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 実績値<br>(令和2<br>(2020)年度) | 達成度 | 本市による<br>評価<br>・達成状況 | 今後の取組の<br>方向性 |
|-------|------------------|---------------------|----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-----|----------------------|---------------|
| ①     | 法人の中核を担う人材の確保・育成 | 業務関連研修の受講者数         | 人  | 3,872                     | 3,872                    | 3,046                    | c   | D                    | Ⅱ             |
| ②     | コンプライアンスの取組強化    | コンプライアンスに反する事案の発生件数 | 件  | 0                         | 0                        | 0                        | a   | A                    | I             |

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、Ⅲ. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

2019年度の市の総括を踏まえ、引き続き、施設利用者数や登録率の向上、自主財源の獲得、行政サービスコストの削減等に取り組み、全市全領域における中間支援組織として、今後も創意工夫をしながら効率的な事業を実施するとともに、新たに市民活動の支援に向けて団体への伴走支援などの手法を取り入れ、青少年支援に向けて体育館や特別活動室などの学校施設の利用場所を確保し児童の活動環境の充実を図るなど対応を図りました。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

【市民活動推進事業】

本取組を通じて、数値化された明確な目標に向けて、より効果的な事業運営及び経営改善に取り組むことができたと考えます。令和2年度については、社会全体で新型コロナウイルス感染症拡大防止のための具体的対応が行われた結果、施設利用者数やこれに連動する利用料等の自主財源の減少が生じましたが、「新型コロナウイルス感染症防止に係る団体活動への影響等調査」を全3回実施し活動団体の実情及び支援ニーズを把握し、かわさき市民公益活動助成金の新規メニュー「コロナのピンチをチャンスにする伴走支援助成」等を実施するなど、時宜に応じた積極的な事業展開を行うことができました。課題を抱える活動団体への効果的な支援を実施することで、全市的な中間支援組織としての役割を十分に果たせたと判断します。今後も、これまでの実績を土台として、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえた取組の展開を期待します。

【青少年健全育成事業】

こども文化センター・わくわくプラザの指定管理者として、こども文化センターにおいては、子ども・若者や子育て家庭の居場所を確保し、多様な体験や活動を通じた子ども・子育ての支援と地域活動の支援に取り組み、わくわくプラザにおいては、学校や地域との連携を図りながら、放課後等に児童が安全・安心に過ごせる場を提供することで、子ども・若者の健全育成に取り組むことができたと考えます。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、こども文化センター・わくわくプラザは、閉館や活動内容の制限、利用自粛要請、イベント等の中止・延期などにより、事業の参加団体数やわくわくプラザの登録率は大きく減少する結果となりましたが、新しい生活様式を踏まえた着実な事業運営を行うことで、コロナ禍における子ども・若者や子育て家庭の居場所の確保と市民活動の拠点としての役割は果たせたと判断します。今後も、学校や家庭、地域と連携しながら、職員の資質向上と子育てニーズを踏まえた事業の充実を図るとともに、市の施策推進に向けた各指標の達成と子ども・若者の健全育成に寄与することを期待します。

|          |                     |     |                       |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

|                  |  |
|------------------|--|
| 事業名              | 市民活動推進事業   |
| <b>計画 (Plan)</b> |  |
| 指標               | ①施設利用者数(利用者+相談者)、②かわさき市民公益活動助成金の申請団体数、③講座受講者満足度  |
| 現状               | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体の育成・支援は、「川崎市市民活動支援指針」(平成13年9月)に基づき取組を推進しており、「川崎市市民活動支援指針改訂検討委員会 報告書」による提言を実施するためには、市民活動支援を担う職員の人材育成・能力強化が継続して必要です。</li> <li>平成30年度末に策定予定の「(仮称)今後のコミュニティ施策の基本的考え方」において、全市拠点として担う役割や機能強化について検討していることから、これを踏まえた更なる取組の推進に努める必要があります。</li> </ul> |
| 行動計画             | <ul style="list-style-type: none"> <li>①市民活動センターの施設利用の促進を図ります。</li> <li>②市民活動の活性化を促す市民公益活動助成金の活用を推進します。</li> <li>③市民活動団体のニーズに応える講座を開催します。</li> </ul>   |
| 具体的な取組内容         | <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「市民が安心して利用できる安全な施設運営」(新たな施設運営)の方針に則し、団体の3密回避行動と利便性の両立を図ります。</li> <li>②伴走支援や個別相談などのフォロー体制を充実させ、助成金に対する団体の関心を喚起し助成金申請を促します。</li> <li>③団体活動や運営等に資するテーマの講座を催すとともに、団体が講座で得た知見の「活用成果発表会」を継続実施します。</li> </ul>                       |

## 実施結果 (Do)

|                |   |
|----------------|---|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3密を避けるため、フリースペースのテーブル数を削減し、間隔を空けて配置することとしました。また、施設内は十分に換気し、消毒液での洗浄や二酸化炭素濃度の測定も行いました。</li> <li>団体がオンライン会議に使用できるよう、パソコンコーナーにおいてオンラインブースを設置しました。</li> <li>士業(税理士、行政書士、司法書士、弁護士)による専門相談を相談者の希望によりオンラインで対応しました。</li> <li>事業成果レポートを年2回発行し、事業成果の見える化により、事業活動に対する市民の共感の醸成に取り組みました。</li> </ul> <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規支援メニュー「コロナボ50」を新設し、2団体以上の協働事業に対する助成を開始しました。また、「新型コロナウイルス感染症防止に係る団体活動への影響等調査(全3回)」の結果を受けて、交付決定団体の中から新型コロナウイルス感染症の影響を受けた団体を対象に、「コロナのピンチをチャンスにする伴走支援助成」として、コロナ対応にかかる経費(委託料、消耗品費、研修費等)を助成しました。併せて、活動期間の短い団体や協働して事業を実施する団体への伴走支援プログラムを開発し実施することで、活動継続への支援を行いました。</li> </ul> <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度もパワーアップセミナーを年10回開講しました。</li> <li>年度後半の4回をオンライン開催としました。</li> <li>「新型コロナウイルス感染症防止に係る団体活動への影響等調査(全3回)」から把握できた、コロナ禍の下で生じた団体のオンライン会議運営に係るニーズを踏まえて、それに関連するテーマ(オンライン会議運営など)を実施しました。</li> </ul> |
|----------------|---|

## 評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 |                     | 目標・実績   | H29年度<br>(現状値) | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | 単位 |
|--------------|---------------------|---|----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1            | 施設利用者数(利用者+相談者)     | 目標値   | 31,581         | 31,700 | 31,800 | 31,900 | 32,000 | 人  |
|              | 説明                  | 会議室、印刷室、フリースペース、パソコンの利用者数及び市民活動相談利用者数<br>※個別設定値:30,002(現状値の95%) |                | 実績値    | 33,190 | 29,953 | 10,296 |    |
| 2            | かわさき市民公益活動助成金の申請団体数 | 目標値   | 84             | 85     | 85     | 85     | 85     | 団体 |
|              | 説明                  | スタートアップ申請団体+ステップアップ申請団体+基盤強化申請団体                                |                | 実績値    | 100    | 75     | 90     |    |
| 3            | 講座受講者満足度            | 目標値   | 93             | 93     | 93     | 93     | 93     | %  |
|              | 説明                  | 講座受講者に対するアンケート結果による、満足、やや満足の割合<br>※個別設定値:88(現状値の95%)            |                | 実績値    | 94     | 96     | 98     |    |

|                |   |   |
|----------------|---|---|
| 指標1<br>に対する達成度 | d | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br><br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |
| 指標2<br>に対する達成度 | a |   |
| 指標3<br>に対する達成度 | a |   |

**法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)**

①施設利用者数の減少は、コロナ禍の下で団体の活動の一時休止や不要不急の集まりなどを控えることを求められる社会状況の影響があるほか、センター施設を4月11日～5月31日にかけて閉館したこと、感染防止策として再開後も夜間閉館およびフリースペースのテーブル数の削減などの影響があります。  
②助成金の申請団体数は、より効果的に活用してもらうために新たにコロナ50申請や伴走支援プログラムを設けるなど選択肢を増やしたことにあります。  
③団体の抱える課題やニーズをとらえ、オンライン会議におけるファシリテートの手法など質の高い講座を提供することに努めた結果が、受講者の満足度の高さに表れました。

|  |             |   |   |
|--|-------------|---|---|
|  | <b>達成状況</b> | <b>区分</b><br>A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>区分選択の理由</b><br>指標1「施設利用者数(利用者+相談者)」については、緊急事態宣言を受けての閉館措置や再開後のソーシャルディスタンスの確保を実施したことによる影響を受けて、目標値に達しませんでした。感染症拡大防止のため利用制限が求められる状況下においても、市民活動団体のニーズを迅速・的確に把握し、時宜に応じた支援メニューを提供することにより、指標2「かわさき市民公益活動助成金の申請団体数」及び指標3「講座受講者満足度」について、実績値が目標値を上回ったことから「目標未達成のものがあるが一定の成果があった」と評価します。 |
|  |             | <b>C</b>  |   |

| 行政サービスコスト               |                 | 目標・実績     | H29年度  | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | 単位 |
|-------------------------|-----------------|-----------|--|--------|--------|--------|--------|----|
| 1                       | 事業別の行政サービスコスト   | 目標値       |  | 89,676 | 88,079 | 88,067 | 88,019 | 千円 |
|                         | 説明 直接事業費-直接自己収入 | 実績値       | 91,467   | 92,660 | 91,299 | 87,105 |        |    |
| <b>行政サービスコストに対する達成度</b> |                 | <b>1)</b> | 1). 実績値が目標値の100%未満<br>2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満<br>3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満<br>4). 実績値が目標値の120%以上 |        |        |        |        |    |

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

実績値が目標値よりも下回ったのは、自主財源の減少があったものの、受託事業が「川崎市協働・連携ポータルサイト管理・運営業務」の1件のみであったため、事業費の減少幅が大きくなったことによります。引き続き自主財源の確保を図りながらサービスコストを意識した事業の実施に努めます。

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
|  | <b>費用対効果</b><br>(「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価) | <b>区分</b><br>(1). 十分である<br>(2). 概ね十分である<br>(3). やや不十分である<br>(4). 不十分である | <b>区分選択の理由</b><br>行政サービスコストに対する達成度について実績値が目標値を下回り、目標を達成していますが、コロナ禍での施設利用者数の減少等により本市施策推進の取組については達成区分がCであることから、費用対効果は概ね十分であると評価します。 |
|  |  | <b>(2)</b>  |   |

**改善(Action)**

| <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b> | 方向性区分   | 方向性の具体的内容 |
|---|---|-----------|
|   | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <b>II</b> |

|          |                     |     |              |
|----------|---------------------|-----|--------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | こども未来局青少年支援室 |
|----------|---------------------|-----|--------------|

## 本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)

|                   |  |
|-------------------|--|
| 事業名               | 青少年健全育成事業  |
| <b>計 画 (Plan)</b> |  |
| 指標                | ①地域や関係機関等との連携状況、②わくわくプラザ登録率  |
| 現状                | 子ども・若者に関する基本的な考え方を継承し、一体化した計画「川崎市子ども・若者の未来応援プラン(平成30年度～33年度)」に基づいて、「こども文化センター」や「わくわくプラザ事業」において、地域での活動や多世代交流、放課後の活動を通じた青少年の健全育成が進められています。   |
| 行動計画              | ①地域や関係機関等の「こども文化センター」や「わくわくプラザ事業」への参加・参画を推進します。<br>②子育て家庭のニーズを事業内容へ反映させることを通じて「わくわくプラザ」の登録率を上げます。  |
| 具体的な取組内容          | ①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、地域連携を実施する際に感染防止策を検討し、安全と積極的な多世代交流の両立に向けて取り組めます。<br>②新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、安全・安心の確保、特別な支援を要する児童等への対応など、子どもが安心して過ごせ、保護者が安心して子どもを託せる運営を実施するとともに、引き続き地域の方々や関係機関と連携した事業を積極的に展開し、わくわくプラザ室以外の学校施設を活用した取組を推進します。 |

## 実施結果 (Do)

|                |   |
|----------------|---|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発令され、こども文化センターは臨時休館(4月11日～5月31日)となりました。宣言解除後は、計画的に運営を進めるため「こども文化センターの段階的な運営」を作成し、衛生管理を強化するとともに、利用時間、定員、活動内容や行事内容等について、段階的に運営を行いながら感染予防に努めました。</li> <li>・地域と連携したこども文化センターの運営を行うため、全53館に設置されている運営協議会と連携し「オープニングセレモニー&amp;カンパニヅクリ」「おばけパーティー&amp;夏のひんやりさん」「なつやすみ工作～ハンガーアート～」「カラクリ板工作」等の特色ある行事を開催しました。</li> <li>・こども文化センター全53館において、地域の様々な特技・知識を持つ方々にボランティア講師となっただき、地域の子どもと大人が共に遊び、育み合う環境を醸成する取り組みとし「御幸いこいの家へ行こう」「タブレットによるオンライン会話」等、様々な事業を実施し、ボランティアと子どもたちの交流を推進しました。</li> <li>・わくわくプラザ全102施設において、各施設の地域状況に応じて、関係機関(幼稚園・保育園、学校、老人いこいの家、高齢者施設、地域の寺子屋、子ども会、地域団体・人材、企業、行政機関等)と連携して「医療従事者応援メッセージ」「フィンランドとりモート 紙飛行機づくり」「リモートで！みんなでおどろろ！」等を実施し、子どもたちに様々な体験活動を提供しました。</li> </ul> <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくプラザでは、一回目の緊急事態宣言発令期間中は、利用対象を医療従事者や社会の機能を維持するための職等とし、職種制限を設けて受け入れを行いました。また、宣言解除後も、密集を避けるため、保護者の就労等により「やむを得ない特別な事情で自宅にお子様を見守る方がいない家庭の児童」のみを対象として運営しました。</li> <li>・手洗い、手指消毒やマスク着用等を徹底するとともに、密となる場合は学校と連携し、特別活動室、図書室を活用するなど、新型コロナウイルス感染防止対策を図りました。</li> <li>・産業医を雇用し、わくわくプラザを巡視していただきながら、新型コロナウイルス感染症対策について、助言をいただき運営に活かしました。</li> <li>・わくわくプラザ全102施設の遊具の安全確認及び不具合箇所の整備を行うとともに、児童のピブス着用、緊急連絡等としてのトランシーバー活用、外遊びの前の準備体操の励行等、事故防止対策を確実に実施しました。</li> <li>・特別な支援を必要とする児童への対応として、巡回相談員(元特別支援学校教諭及び小学校校長経験者等)を9名配置し、当該業務に従事する職員のアドバイザーや研修の講師を務めていただきました。</li> <li>・わくわくプラザ室以外の学校施設の活用については、当法人が管理運営している各区計20グループ内の小学校12校と協議を行い、体育館、特別活動室、図書室等の使用承認を得ました。</li> <li>・国が実施する補助制度「緊急包括支援交付金」を活用し、日々使用する消毒液や非接触式体温計、環境測定器(CO2モニター)等、50,062,455円分を購入し、感染防止に努めました。</li> </ul> |
|----------------|---|



## 評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標   |  | 目標・実績    | H29年度<br>(現状値)   | H30年度 | R1年度  | R2年度  | R3年度  | 単位 |
|----------------|--|----------|--|-------|-------|-------|-------|----|
| 1              | 地域や関係機関等との連携状況                                       | 目標値      | 1,762  | 1,800 | 1,850 | 1,900 | 1,950 | 団体 |
|                | 説明<br>こども文化センター及びわくわくプラザ事業に参加・参画した団体数                | 実績値      |  | 1,902 | 2,121 | 752   |       |    |
| 2              | わくわくプラザの登録率  | 目標値      | 48.5   | 48.6  | 48.7  | 48.8  | 49    | %  |
|                | 説明<br>在校児童数に対するわくわくプラザの登録者の割合<br>※個別設定値:47.2(過去の平均値) | 実績値      |  | 48.6  | 49.4  | 35.9  |       |    |
| 指標1<br>に対する達成度 |  | <b>d</b> | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満 |       |       |       |       |    |
| 指標2<br>に対する達成度 |  | <b>c</b> | ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載  |       |       |       |       |    |

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

①緊急事態宣言後は「段階的な運営」を作成し、こども文化センターは、利用時間や定員、わくわくプラザについては、利用対象に制限を設けながら、感染防止策を講じて段階的に運営を行いました。行事等の開催にはオンラインの活用を図りましたが、大規模な行事や飲食等を伴う行事等が再開に至らず、事業に参加した団体数は少なく、本指標の達成には至りませんでした。

②わくわくプラザは、本来、すべての小学生が利用できる事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避けるため、保護者の就労等により「やむを得ない特別な事情で自宅にお子様を見守る方がいない家庭の児童」のみを対象としました。その解除が年間を通してできなかったことから、本指標の達成には至らなかったものの、利用を必要とする児童の把握と受け入れに尽力しました。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分   | 区分選択の理由  |
|---------|------|--|----------|
|         |      | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>D</b> |

| 行政サービスコスト        |                    | 目標・実績     | H29年度  | H30年度     | R1年度      | R2年度      | R3年度      | 単位 |
|------------------|--------------------|-----------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|----|
| 1                | 事業別の行政サービスコスト      | 目標値       | 2,850,637  | 2,934,933 | 3,026,536 | 3,085,158 | 3,146,029 | 千円 |
|                  | 説明<br>直接事業費－直接自己収入 | 実績値       |  | 2,943,935 | 3,005,256 | 3,056,933 |           |    |
| 行政サービスコストに対する達成度 |                    | <b>1)</b> | 1). 実績値が目標値の100%未満<br>2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満<br>3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満<br>4). 実績値が120%以上 |           |           |           |           |    |

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

実績値については、コロナ禍での利用者の減少により事業収益の落ち込みがあったものの、こども文化センターでの臨時休館や時短等により人件費等が抑制されたことによります。

| 本市による評価 | 費用対効果<br>(「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) | 区分   | 区分選択の理由    |
|---------|---|--|------------|
|         |   | (1). 十分である<br>(2). 概ね十分である<br>(3). やや不十分である<br>(4). 不十分である | <b>(3)</b> |

## 改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分   | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
|                                  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <b>II</b> |

|          |                     |     |                       |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|

| 3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度) |  |
|------------------------------|--|
| 項目名                          | 法人の自立化や経営の安定化の推進   |
| 計 画 (Plan)                   |  |
| 指標                           | 自主財源等の確保   |
| 現状                           | 【市民活動推進事業における主な自主財源】<br>賛助会員受取会費、市民活動事業収益(施設・設備の使用料収入)、受取一般寄付金<br>【青少年健全育成事業における主な自主財源】<br>子育て支援・わくわくプラザ事業収益(サービス利用料)、青少年事業収益(実習生等の受入れに伴う謝礼金)  |
| 行動計画                         | 利用者の利便性の向上を図るとともに、公益財団法人としての説明責任及び社会貢献を果たすことにより、自主財源の確保に努めます。  |
| 具体的な取組内容                     | 【市民活動推進事業】<br>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「市民が安心して利用できる安全な施設運営」(新たな施設運営)で安全性と利便性を充足させ、安定的な施設利用を図ります。<br>・市民活動団体のニーズや満足度の高い講座を開催します。<br><br>【青少年健全育成事業】<br>・安全・安心の確保、特別な支援を要する児童への対応等、子どもが安心して過ごせ、保護者が安心して託せる運営を実施します。<br>・社会貢献の一つとして、教育実習生等をこども文化センターで受け入れます。 |

| 実施結果 (Do)     |  |
|---------------|--|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p><b>【指標1関連】</b></p> <p>【市民活動推進事業】<br/>・「新たな施設運営」方針のもと、施設内換気の促進や設備の洗浄、二酸化炭素濃度測定機の導入などを行い、利用者が安心して施設を利用するための対策を実施し、コロナ禍において可能な限り自主財源の確保につとめました。<br/>・研修等の市民が参加する事業については、実施及び参加費徴収をオンラインで行うなど安定的な事業運営及び事業収入の確保を図りました。</p> <p>【青少年健全育成事業】<br/>・新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、手洗い手指消毒やマスク着用等を徹底するとともに、密となる場合は学校と連携し、体育館、特別活動室、図書室等を活用しました。<br/>・わくわくプラザ全102施設の遊具の安全確認及び不具合箇所の整備を行うとともに、児童のビブス着用、緊急連絡等としてのトランシーバー活用、外遊びの前の準備体操の励行等、事故防止対策を確実に実施しました。<br/>・特別な支援を必要とする児童への対応として、巡回相談員(元特別支援学校教諭及び小学校校長経験者等)を9名配置し、当該業務に従事する職員のアドバイザーや研修の講師を務めていただきました。<br/>・子どもたちが落ち着いて過ごせる環境を整えるため、夏休み等の長期休校期間の朝に、短時間で外遊びや室内遊び等を工夫して取り入れる「わくどきタイム」を実施しました。<br/>・わくわくプラザ室以外の学校施設の活用については、当法人が管理運営している各区計20グループ内の小学校12校と協議を行い、体育館、特別活動室、図書室等の使用承認を得ました。<br/>・教育実習生、職業体験等の受け入れを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れを中止しました。小・中学校の児童生徒がこども文化センターを訪問するまち探検(社会科見学)については、実施時間が短いことから受け入れを行い、20館で延べ858人が来館しました。<br/>・子育て支援・わくわくプラザ事業には、保護者の就労等によって午後6時までにお迎えが難しい児童2,684人が登録しており、児童の安全の確保を進めながら事業を実施しました。</p> |

## 評価 (Check)

| 経営健全化に関する指標            |   | 目標・実績    | H29年度<br>(現状値)  | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | 単位 |
|------------------------|---|----------|---|--------|--------|--------|--------|----|
| 1                      | 自主財源等の確保                                      | 目標値      | /   | 46,785 | 47,155 | 47,421 | 47,835 | 千円 |
|                        | 説明 市からの補助金・委託費以外の収益<br>※個別設定値: 44,987(過去の平均値) | 実績値      | 46,572  | 47,818 | 48,396 | 23,980 |        |    |
| <b>指標1<br/>に対する達成度</b> |   | <b>d</b> | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br><br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |        |        |        |        |    |

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

【市民活動推進事業】  
 コロナ禍において、講座等でのオンラインを活用した事業運営を実施し自主財源の確保に努めましたが、利用制限や施設利用者の減少などにより、前年度に比べ2割ほど自主財源が落ち込んでしまいました。(令和元年度3,851,159円→令和2年度3,142,567円)

【青少年健全育成事業】  
 コロナ禍において、感染対策などを行ってきましたが、わくわくプラザ(子育て支援・わくわくプラザを含む)の利用者数が減少したこと及び教育実習生の受け入れの中止等の影響により、自主財源が前年度から5割ほど減少となりました。(令和元年度43,918,440円→令和2年度20,802,497円)



|             | 区分   | 区分選択の理由  |
|-------------|--|--|
| <b>達成状況</b> | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">E</div> 市民活動推進事業については、感染症拡大防止策としての閉館や再開後の一部利用制限等の影響により利用料収入が減少したため、目標値を達成できませんでした。<br>青少年健全育成事業については、感染防止対策として保護者の就労等によりやむを得ない特別な事情で自宅にお子様を見守る方がいない家庭の児童以外の利用自粛を促したことにより、感染症対策を実施しながら利用を必要とする児童の放課後における安全・安心な居場所を確保することができたが、自主財源等の確保としての目標の達成には至らなかったため。 |

## 改善 (Action)

|   | 方向性区分   | 方向性の具体的内容  |
|---|---|--|
| <b>実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性</b> | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> 引き続き、施設利用の利便性の向上や事業活動に対する市民の理解・支持を広げることに伴い、寄付金や賛助会員の増加等の自主財源の確保を図っていく予定ですが、コロナ禍の状況に応じて、研修や講座等に関してはオンライン配信などの対応を進め、幅広い利用者の獲得を図るとともに、自主財源の確保に向けた検討課題としてまいります。また、新しい生活様式を踏まえた子育て支援・わくわくプラザ事業等の運営により自主財源の確保を図っていきます。 |



|          |                     |     |                       |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|

| 経営健全化に向けた取組②(令和2(2020)年度) |  |
|---------------------------|--|
| 項目名                       | 公益法人の会計基準により即した予算執行及び会計処理の確立(財務基準の遵守)  |
| 計画(Plan)                  |  |
| 指標                        | 収支相償の達成  |
| 現状                        | 収支相償は、公益法人が守らなければならない財務基準の一つで、原則として、各事業年度の収支を均衡させる必要があり、経常収益が経常費用を上回る状態が続くと、公益法人の認定を取り消される場合もあることから重要な指標となっています。青少年健全育成事業において、人件費等のぶれ幅が大きくなる場合があります。 |
| 行動計画                      | 予算の計画執行に努めるとともに、大幅な剰余が見込まれる場合には、将来の事業拡充に向け、特定費用準備金の活用を図ります。  |
| 具体的な取組内容                  | 月次における収支予算管理月報等による執行状況を各課で共有し確認しながら、予算の計画的な執行に取り組みます。  |

| 実施結果(Do)      |  |
|---------------|--|
| 経営健全化に向けた活動実績 | 【指標1関連】<br>市民活動推進事業においては、コロナ禍において安定的な参加者の確保に向けてオンライン研修の充実に取り組み、青少年健全事業においては、図書や遊具の購入、施設の修繕などを行うとともに、徹底した施設内の消毒を実施し、コロナ禍において、可能な限り安心・安全な施設運営に努め、収支均衡を図りました。 |

| 評価(Check)   |   |       |   |             |            |           |      |    |
|---|---|-------|---|-------------|------------|-----------|------|----|
| 経営健全化に関する指標   |   | 目標・実績 | H29年度(現状値)  | H30年度       | R1年度       | R2年度      | R3年度 | 単位 |
| 1   | 収支相償の達成   | 目標値   |   | 0           | 0          | 0         | 0    | 円  |
|   | 説明<br>収支相償の計算は、行政庁(県)に提出する「収支相償の計算」(別表A)のルールに従い算出します。 | 実績値   | 1,139,869   | △ 1,417,297 | 39,324,647 | 4,213,736 |      |    |
| 指標1に対する達成度  |   | C     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |             |            |           |      |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)   |   |       |   |             |            |           |      |    |
| <p>収支相償の達成に関しては、本連携・活用方針策定時に、市と協議の上、目標値を極力数値化するため、便宜的に0円と表示したのですが、その評価にあたっては、単純に実績値が目標値未満か以上かによるのではなく、公益法人認定法並びに国のガイドライン及びFAQIによると、剰余金が生じた理由と当該剰余金を短期的に解消する計画を踏まえ判定されるものとされています。</p> <p>令和2年度についても収支相償の方針に基づき剰余金等を出さないように会計の運用を行いました。児童厚生員資格取得研修の中止等により一部予算が執行できず前年度より大幅に減りましたが剰余金が発生したものです。また、令和元年度の剰余金については、令和2年度の人件費に充てる予定としていましたが、法改正による同一労働同一賃金への対応整理等により活用することができなかつたところであり、令和2年度の剰余金と併せて、同一労働同一賃金の対応に関わる人件費、児童厚生員資格取得の研修の未受講者対応等に充当し、計画的に解消していく予定であることから、昨年同様の達成度とするのが妥当と考えます。</p> |   |       |   |             |            |           |      |    |

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分   | 区分選択の理由 |
|---------|------|--|---------|
|         |      | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | C       |

| 改善(Action)                       |  |           |
|----------------------------------|--|-----------|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分  | 方向性の具体的内容 |
|                                  | Ⅰ. 現状のまま取組を継続<br>Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>Ⅲ. 状況の変化により取組を中止 | Ⅱ         |

|          |                     |     |                       |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|

#### 4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)

|                  |  |
|------------------|--|
| 項目名              | 法人の中核を担う人材の確保・育成   |
| <b>計画 (Plan)</b> |  |
| 指標               | 業務関連研修の受講者数  |
| 現状               | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年3月まで、法人の中核を担う人材は川崎市からの派遣職員が行っていたことから、法人の組織運営を担えるプロパー職員が不足しています。</li> <li>事業のサービス向上には、職員の資質向上を欠かすことができません。</li> </ul> |
| 行動計画             | 職員の資質向上と業務知識の習得を目的として、自主研修を実施するとともに市内外で開催される研修やシンポジウムへ積極的に参加させます。  |
| 具体的な取組内容         | 職員の資質の向上を図るため、川崎市や関係団体の主催する研修会や講演会に積極的に参加させるとともに、各課における業務知識の習得や専門性の充実を目指して、関連するセミナーへの参加や法人内での相互研修を進めていきます。   |

#### 実施結果 (Do)

|               |  |
|---------------|--|
| 業務・組織に関する活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <p>総務課: 労務管理及び財務知識向上のため「公益・一般法人に係る総合税務対策特別講座」「奉行クラウドフォーラム2020」「コロナボロー(文書システム)セミナー」「公益・一般法人経理担当のための年末調整入門」の研修等に4人が参加しました。</p> <p>市民活動推進課: 市民活動団体の活動支援に必要な知識習得のため、「ボランティア活動支援施設スタッフセミナー～市民活動支援センターの役割とNPOの基礎知識」、「Withコロナ時代の市民活動をサポートする専門家・プログラム見本市」、「コロナ禍における市民活動を考える」などの17の研修に19人が参加しました。</p> <p>青少年事業課: 新型コロナウイルス感染症予防対策として、可能な限り、従来よりも広い会場やリモートで開催したり、時間を短縮して実施した結果、「人権研修」「衛生管理研修」「子どもの理解と対応」などを含め、64回の研修に計3,023人が、参加しました。</p> |
|---------------|--|

#### 評価 (Check)

| 業務・組織に関する指標  |   | 目標・実績 | H29年度<br>(現状値)  | H30年度 | R1年度  | R2年度  | R3年度  | 単位 |
|--|---|-------|---|-------|-------|-------|-------|----|
| 1  | 業務関連研修の受講者数   | 目標値   |   | 3,872 | 3,872 | 3,872 | 3,872 | 人  |
|  | 説明 市民活動推進課: 業務関連研修・シンポジウム、青少年事業課: 自主研修等<br>※個別設定値: 3,678(現状値の95%) | 実績値   | 3,872   | 4,169 | 3,909 | 3,046 |       |    |
| 指標1に対する達成度   |   | C     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |       |       |       |       |    |
| <b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b><br>市民活動推進課については、職員の資質の向上と知識の習得を目的に市内外で開催される研修や講習・シンポジウムなどに参加しており、特にコロナ禍での事業の在り方やリスク管理などを学ぶなど事業に生かしており、また、蓄積した知識に応じて職員が講師となり還元しています。<br>青少年事業課については、コロナ禍で職員を対象とした研修を可能な限りリモートなどで工夫しながら開催しましたが、研修等の縮小や中止などにより減少しています。 |   |       |   |       |       |       |       |    |

|  |             |  |  |
|--|-------------|--|--|
|  | <b>達成状況</b> | <b>区分</b>  | <b>区分選択の理由</b>   |
|  |             | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | D<br>市民活動推進事業については受講した研修の数及び参加人数について前年度実績を上回りました。(令和元年度: 11研修に13人が参加)<br>青少年健全育成事業については、オンラインを活用した研修などを可能な限り実施し、職員の資質向上と業務知識の習得に努めたが、感染症対策としての研修等の縮小や中止により目標の達成には至らなかったため。 |

#### 改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分   | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
|                                  | I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | II        |

|          |                     |     |                       |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 かわさき市民活動センター | 所管課 | 市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|

| 業務・組織に関する取組②(令和2(2020)年度) |  |
|---------------------------|--|
| 項目名                       | コンプライアンスの取組強化  |
| 計画 (Plan)                 |  |
| 指標                        | コンプライアンスに反する事案の発生件数  |
| 現状                        | 他の法人において法令違反の事件が発生しており、当法人においてもコンプライアンスを高めるための方策が求められています。   |
| 行動計画                      | 他の法人において発生した法令違反事件等を検証し、管理職会議等を通じ周知することにより、全職員に法令順守の重要性を高く認識させるとともに、風通しの良い職場環境づくりを進めることにより、当法人のコンプライアンスを強化します。 |
| 具体的な取組内容                  | 当法人の管理職会議やこども文化センターの館長会議の開催を通じて、また、法人内の掲示板を活用しながら職員における法令順守の徹底と情報共有を進めていきます。                                   |

| 実施結果 (Do)     |  |
|---------------|--|
| 業務・組織に関する活動実績 | <b>【指標1関連】</b><br>法人本部管理職会議(17回:定期12回、臨時会5回)及び館長会議(11回)を開催し、法令の遵守とコロナ禍での職員の自覚的行動や対応などを法人内の各会議や掲示板を通じて発信し職員に伝達しました。 |

| 評価 (Check)   |                     |       |   |       |      |      |      |    |
|--|---------------------|-------|---|-------|------|------|------|----|
| 業務・組織に関する指標  |                     | 目標・実績 | H29年度(現状値)  | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
| 1  | コンプライアンスに反する事案の発生件数 | 目標値   | 0   | 0     | 0    | 0    | 0    | 件  |
|  | 説明                  | 実績値   |   |       |      |      |      |    |
| 指標1に対する達成度   |                     | a     | a. 実績値が目標値以上<br>b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満<br>c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満<br>d. 実績値が目標値の60%未満<br>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |       |      |      |      |    |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)                        |                     |       |   |       |      |      |      |    |
| コンプライアンスに反する事案の発生はなく、法人におけるコンプライアンスの維持強化を図ることができました。 |                     |       |   |       |      |      |      |    |

|  |             |  |   |
|--|-------------|--|---|
|  | <b>達成状況</b> | 区分   | 区分選択の理由   |
|  |             | A. 目標を達成した<br>B. ほぼ目標を達成した<br>C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった<br>D. 現状を下回るものが多くあった<br>E. 現状を大幅に下回った | <b>A</b><br>管理職会議や各種会議等における取組の推進や啓発の強化により、コンプライアンスに反する事案は発生しなかったことから、目標を達成したと評価します。 |

| 改善 (Action)   |   |
|---|---|
| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性                                  | 方向性の具体的内容   |
| I. 現状のまま取組を継続<br>II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続<br>III. 状況の変化により取組を中止 | <b>I</b><br>法人のコンプライアンスの強化向上に向けて、引き続き職員に法令順守と風通しの良い職場環境の維持を進めていきます。 |

## ●法人情報

### (1) 財務状況

| 収支及び財産の状況(単位:千円) |              | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|------------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 正味財産増減計算書        | (一般正味財産増減の部) |              |             |             |             |
|                  | 経常収益         | 3,078,087    | 3,230,523   | 3,218,700   |             |
|                  | 経常費用         | 3,130,905    | 3,191,175   | 3,214,486   |             |
|                  | 当期経常増減額      | △52,817      | 39,348      | 4,214       |             |
|                  | 当期一般正味財産増減額  | △52,817      | 39,269      | 4,082       |             |
| 正味財産増減の部         | (指定正味財産増減の部) |              |             |             |             |
|                  | 当期指定正味財産増減額  | 19           | 19          |             |             |
|                  | 正味財産期末残高     | 230,248      | 269,536     | 273,618     |             |
| 貸借対照表            | 総資産          | 1,126,990    | 1,128,488   | 1,319,633   |             |
|                  | 流動資産         | 374,748      | 353,910     | 474,081     |             |
|                  | 固定資産         | 752,242      | 774,577     | 845,552     |             |
|                  | 総負債          | 896,742      | 858,952     | 1,046,015   |             |
|                  | 流動負債         | 380,157      | 317,421     | 433,748     |             |
|                  | 固定負債         | 516,586      | 541,531     | 612,267     |             |
|                  | 正味財産         | 230,248      | 269,536     | 273,618     |             |
|                  | 一般正味財産       | 197,341      | 236,610     | 240,692     |             |
|                  | 指定正味財産       | 32,907       | 32,926      | 32,926      |             |

#### エラーチェック

OK

OK

OK

OK

### 本市の財政支出等(単位:千円)

|                     | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|---------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 補助金                 | 120,062      | 119,078     | 115,061     |             |
| 委託料                 | 66,734       | 65,833      | 75,266      |             |
| 指定管理料               | 2,839,972    | 2,967,713   | 3,000,892   |             |
| 貸付金(年度末残高)          |              |             |             |             |
| 損失補償・債務保証付債務(年度末残高) |              |             |             |             |
| 出捐金(年度末状況)          | 10,000       | 10,000      | 10,000      |             |
| (市出捐率)              | 16.2%        | 16.2%       | 16.2%       |             |

### 財務に関する指標

|   | 平成30(2018)年度 | 令和1(2019)年度 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 |
|---|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 流動比率(流動資産/流動負債)                         | 98.6%        | 111.5%      | 109.3%      |             |
| 正味財産比率(正味財産/総資産)                        | 20.4%        | 23.9%       | 20.7%       |             |
| 正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)                 | -22.9%       | 14.6%       | 1.5%        |             |
| 総資産回転率(経常収益/総資産)                        | 273.1%       | 286.3%      | 243.9%      |             |
| 収益に占める市の財政支出割合<br>(補助金+委託料+指定管理料)/経常収益) | 98.3%        | 97.6%       | 99.1%       |             |

#### 法人コメント

現状認識  
当財団は、収益事業を行っておらず、市民活動推進事業及び青少年健全育成事業を公益目的事業の主な柱として展開しています。公益財団法人として収支相償の原則により利益率は、ゼロに近い運営を行っていますが、青少年健全育成事業の一部(子育て支援・わくわくプラザ事業)を除いて、受益者負担の方式は採用しておらず、補助金、指定管理料等で予算措置が行われており、当該事業を利用者に無償で提供することとしているため、確保すべき大きな自主財源はなく、当財団の収益における市の財政支出の依存度が高いのは、この状況によるものです。

#### 今後の取組の方向性

受益者負担の原則に基づき、当財団の自己収入として利用料を徴収させるか否かは、市の政策判断によるところと考えます。当財団自体、公益性を重視した運営を継続させていく方向であり、その結果、今後も市への財政依存度は高い水準とならざるを得ないものと考えます。

#### 本市コメント

本市が今後法人に期待することなど  
今後も引き続き、経費の削減や多様な財源の確保に努め、社会変容に応じて事業内容を工夫する等により、施設利用者数等各指標の向上に取り組むことを期待します。

### (2) 役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

|    | 常勤(人) |         |         | 非常勤(人) |         |         |
|----|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
|    | 合計    | (うち市派遣) | (うち市OB) | 合計     | (うち市在職) | (うち市OB) |
| 役員 | 2     | 0       | 1       | 9      | 0       | 1       |
| 職員 | 215   | 0       | 0       | 102    | 0       | 16      |

#### 【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性